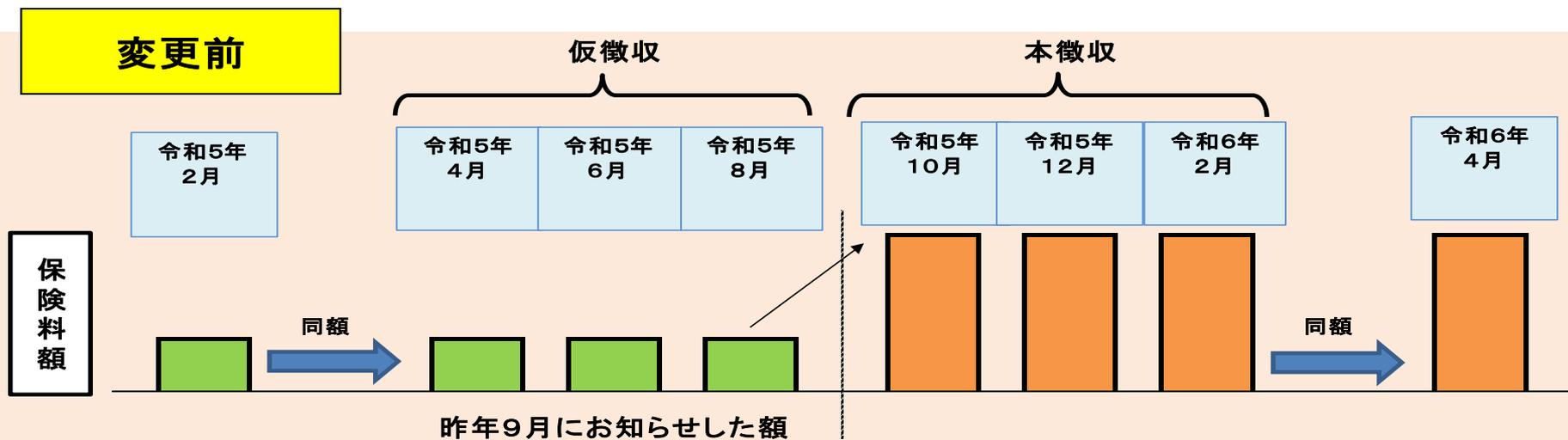


①8月までの保険料が少額で、10月以降急激に増額すると想定される場合

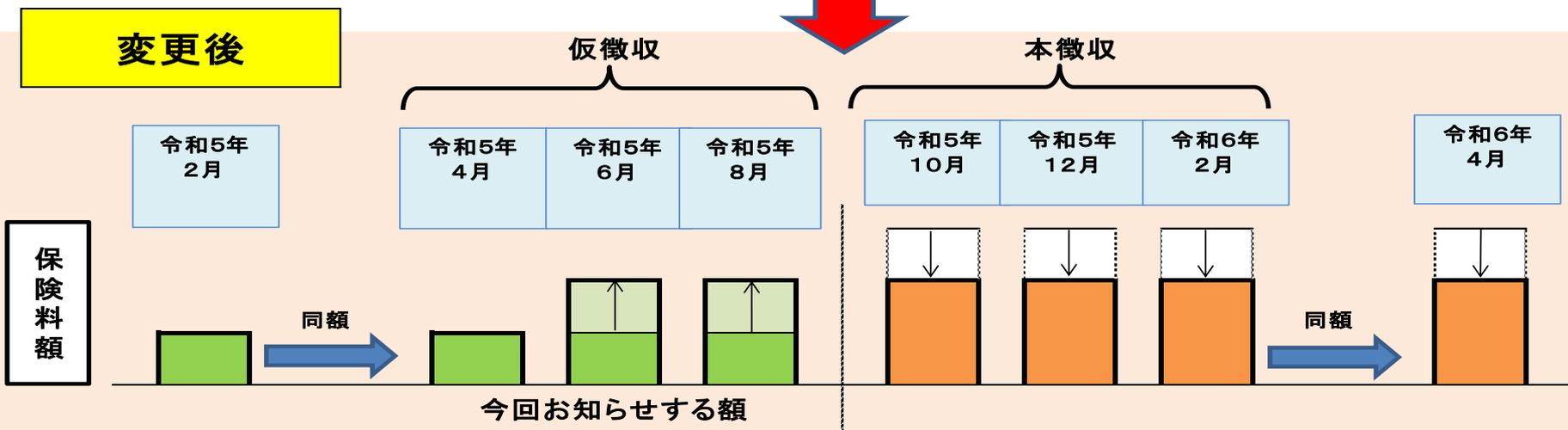
6月からの保険料を調整し、年金から天引きされる保険料額をできるだけ均一にします。

これにより毎回の年金受け取り額が同額に近づきます。

年間保険料額に変更はありません。



6月、8月の年金天引き額と10月以降の年金天引き額に大きな差が生じてしまう可能性があります。



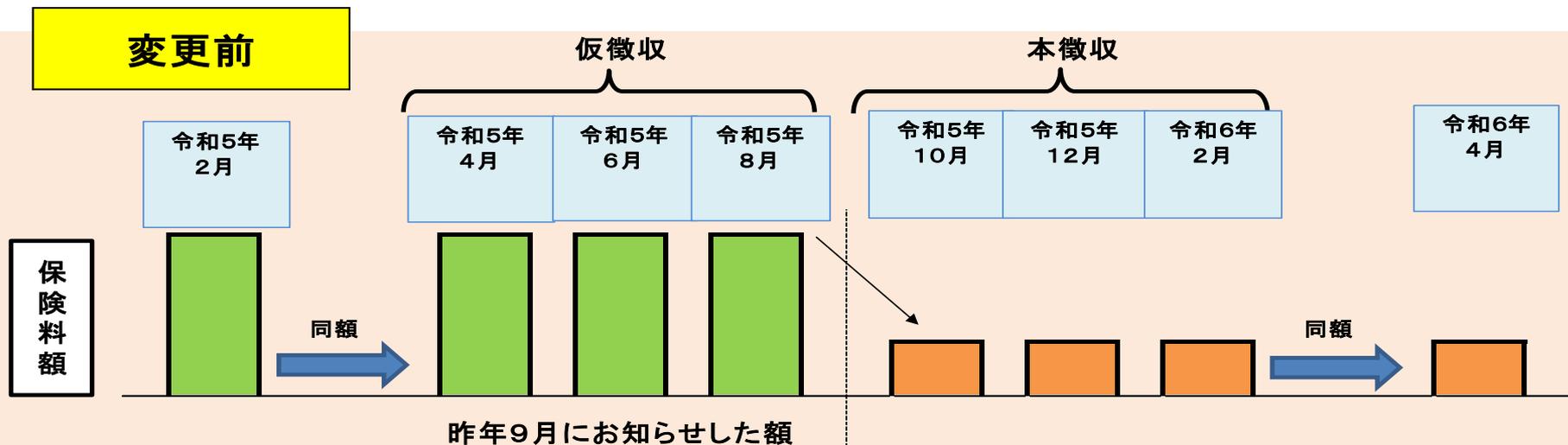
6月、8月の年金天引き額と10月以降の年金天引き額が均一になります。

②8月までの保険料が高額で、10月以降急激に減額すると想定される場合

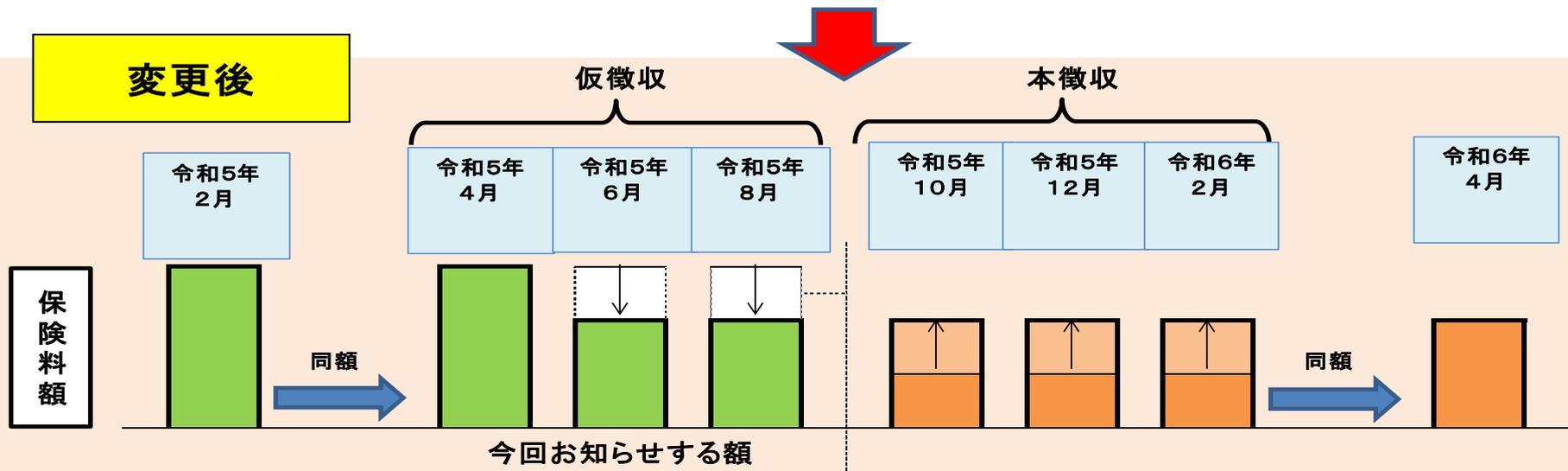
6月からの保険料を調整し、年金から天引きされる保険料額をできるだけ均一になるようにします。

これにより毎回の年金受け取り額が同額に近づきます。

年間保険料額に変更はありません。



6月、8月の年金天引き額と10月以降の年金天引き額に大きな差が生じてしまう可能性があります。



6月、8月の年金天引き額と10月以降の年金天引き額が均一になります。